



す
が
お

No.57

養護老人ホーム
松楓園 情報誌



桜が咲き誇り、待ち望んだ春の陽気を感じつつ新年度がスタートしました。二月には、東京でも二度の大雪に見舞われ、数日間にわたる職員総出での雪かきを強いられ、雪国の生活の大変さを実感致しました。この冬は例年以上に近隣地域でインフルエンザやノロウイルスが大流行し心配をしましたが、外出を控えて頂いたり、また日々の生活の中で、手洗い・うがいの励行への利用者の皆さんのご協力により、誰ひとり感染することなく穏やかに春を迎えることが出来ました。さて、三月二十日に役員会が開催され、二十六年度の松楓園の事業計画及び予算が

承認されました。消費税が3%上がる中で、養護老人ホームでは、措置費に上乗せなく現状のまま、経営はなお一層厳しい状況となることが予想されますが、利用者へのサービスは決して落とすことのないよう努力していきたくと考えております。また運営につきましても、再生養護老人ホームへの取り組みを含め、基本理念を基に運営方針を八項目掲げ、ソーシャルワーク機能強化型の中間施設として、入所者の退所支援や地域生活の支援、地域で暮らす社会的支援を要する高齢者への支援など地域で暮らす社会的支援を要する高齢者への自立を支え

る施設と成るべく、認知症・精神疾患・知的障害また社会的適応困難者に対する専門的な知識・技術を習得できるよう教育体制を強化してまいります。地域での自立を支える拠点機能の一環として、介護予防対策で、特に体操教室の活動で今年度より活動成果の測定・数値化による科学的体操を行うことで、地域への貢献を果たしていきたいと考えております。これからも増々虚弱者の入所が増える中、国が示す職員体制、施設の老朽化など様々な課題を踏まえ、利用者個々の心身状況に合わせた生活環境の整備や支援サービスを職員一丸となって取り組んでまいりますので、より一層のご支援・ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

松楓園 副施設長

内田京子

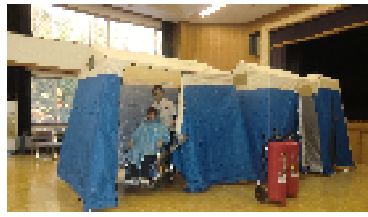
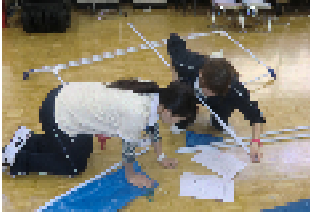
今年度の課題と取り組み

広域災害に備えて

防災・設備安全検討委員会

二十五年度に新たに立ち上げた「防災・設備安全検討委員会」が中心となり、近い将来に発生が予想される大規模な広域災害に備え、あらゆる場面を想定しながら安全対策の取り組みを強化しています。

複数の都道府県に被害が及ぶ広域災害では、地域との相互連携による災害対応の取り組みが求められており、地域の菅生町内会との災害活動相互応援協定による防災対策の強化を推進すると共に、防災および災害活動時の拠点としての施設のあり方も視野に入れながら、備蓄・備品を含め今後の取り組みを検討していききたいと考えています。



六月には職員による「炊き出し訓練」を予定しています。

費用対効果の検証

四月からの消費税増税により負担増の時代が幕を開けましたが、養護老人ホームにおいても影響は大きく、更に厳しい運営を迫られる状況にあります。厳しい状況の中、利用者の方々への最適なサービスを継続していくには、限られた予算をいかに有効

消費税増税の影響

最適なサービスの継続へ

に活用していきけるのかが課題となつてきます。

前述の体操教室の取り組みなど、活動状況を常に点検し、費用対効果による成果を検証することで、サービスの質の向上と効果的な支援を充実させていきたいと考えています。

科学的体操教室

毎週金曜日に二名の講師による「体操教室」の活動を通じて、利用者の健康意識も高まり、毎回八割以上の方が参加をしている状況にあります。利用者への健康意識が高まり活発な活動が行われている現状からは、より効果的な活動を目標にした「科学的体操教室」を今年度の課題として取り組みます。

年二回の体力測定を実施し、活動成果の測定・数値化による科学的体操教室を行い、介護予防効果を高めていきます。



利用者健康講座 ～ 転倒予防講習会 ～



月2

が

が 行
すが
が が

が

す



職員研修
メンタルヘルス講習会

一 護 が 一

お

26年度のクラブ紹介



クラブ活動は充実した生活の提供を目的に活発な活動が行われ、日々の生活の活性化や良好な人間関係の構築へと繋がっています。



書道クラブ

年

行 年 人



華道・茶道クラブ
部員の利用者の方々には講師の加藤先生・田中先生の指導を受け、本格的な活動を行っています。毎年先生からご招待をいただく華道展・お茶会は部員の楽しみとなり、敬老週間での華の展示・野点は成果発表の場として励みになっています。



カラオケクラブ



1
が

2

行

す

志も新たに

利用者の方に活動への思いなど、抱負を語っていただきました。今年新しい歌を覚えて旅行で披露したいわ」書が上手になったって褒められたの。もっと頑張るわよ」今年も野点でお茶を点てられるように作法を学びたいです」など、皆さんそれぞれに志を新たに新年度の活動に励んでいます。

今年度初めての活動では各クラブで親睦会を実施して



春の訪れ お花見食事会 お茶飲み会



春のたより

松楓
園 年 行 4月3 お

園 行 4月8

お 行

園 行

す

す



～利用者投稿コーナー～

桜の思い出》 杉山とめ子様

祖父が買って来た3種類の桜がありました。その内ふわっとした感じの薄緑色紫陽花のような桜がとて珍しく思い出に強く残っています。

東京に来てからは、親戚からの勧めも有るソメイヨシノ発祥の地と言われている駒込の染井に行ったりしました。今年はこの桜見学になるか楽しみです。

春の花》 S・N様

最近の桜より、昔の桜やチューリップの方が趣もあり良かったと感じます。また当時はいろんな学校・幼稚園に沢山植えており、春先はとても綺麗で、当時は珍しいインコがそばを飛んでいる光景を見かけ日本の和と西洋の鳥が一緒にいるなんて不思議な感じがしました。

今では園庭の桜を十分に楽しんでいますが、やはり花より団子です。

短歌

何本の軒から下がる 氷柱より
ばたりばたりと 解けて流るる

青木浩世様

思えば 暗き事多き 御時世に
あゝ 美しきかな 銀世界

穴戸 巖様

編集後記

2月の記録的な大雪や全国的なインフルエンザの流行もようやく終息し、ようやく春が巡って来ました。今年度の広報誌「すがお」も松楓園利用者の近況や新しい取り組みなど様々な事をお伝えしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。

広報誌編集委員会

発行

人松楓
養護老人ホーム松楓園

1 1
4 2 1 ()

<http://www.shohuen.jp>